

会 議 議 事 録

会 議 名	2019 年度専門学校東京テクニカルカレッジ 第一情報・Web・ゲーム系教育課程編成委員会
開 催 日 時	2019 年 7 月 19 日 (金) 15 時 40 分～17 時 00 分
会 場	専門学校東京テクニカルカレッジ 地下 1 階 テラホール
参 加 者	<外部委員：7 名> (順不同・敬称略、役職は委員名簿参照) 中山 典隆 (有限会社イプシロン／東京商工会議所中野支部) 杉山 司 (特定非営利活動法人中野コンテンツネットワーク協会／桔梗 ICT パートナーズ株式会社) 澤坂 智之 (株式会社 Artisan) 川勝 誠治 (株式会社ゲーテック) 松嶋 守仁 (サイド・ビィ株式会社) 後藤 英明 (ドコモ・データコム株式会社) 高橋 秀明 (ネクサート株式会社) <内部委員：5 名> 白井 雅哲 (学校法人小山学園 専門学校東京テクニカルカレッジ 校長、第一部のみ) 井坂 昭司 (同 副校長 兼 情報処理科科長) 呉石 義明 (同 情報処理科主任 第二部のみ) 松田 達夫 (同 ゲームプログラミング科科長) 川辺 伸司 (同 Web 動画クリエイター科科長)
会 議 録 参 加 者	<系別分科会> (第二部) - 議長挨拶 井坂より挨拶 - 前回 (系別分科会) 議事録の確認 - 意見交換 テーマ：各学科の学生状況、課題について 意見交換は情報処理科、ゲームプログラミング科、Web 動画クリエイター科の 3 科に分かれ、各科の状況報告、課題について議論実施。 ■情報処理科 分科会 参加者 <外部委員> 松嶋 守仁 (サイド・ビィ株式会社) 沖野 仁美 (株式会社テクニカル・ジィ) 後藤 英明 (ドコモ・データコム株式会社) 高橋 秀明 (ネクサート株式会社) <内部委員> 井坂 昭司 (専門学校東京テクニカルカレッジ 副校長 兼 情報処理科科長) 呉石 義明 (同 情報処理科主任 第二部のみ) <u>最新技術・AI・IT 動向</u> ・現在の世の中の動向は？ (井坂) ・製造業は落ちてきている。IT はまだ大丈夫。 (高橋) ・技術力のある人が欲しい状況。 (松嶋) ・技術変化に対応できる人が欲しい。 (高橋) ・銀行は、人減らしに走ってきている。運用・維持系を減らしている。 (高橋) ・銀行系は確かにそういう動きがある。 (後藤) ・IT 系で行けば、小回りの利くエンジニアが必要とされる。 (高橋) ・AI の動きは？ (井坂)

- ・銀行系は、自動化。例えば住宅ローン申請の自動化など。(高橋)
- ・携帯キャリアも自動化の方向性で進んでいる。(後藤)
- ・採用に AI を使ってきている企業もある。(松嶋)
- ・採用をちゃんと AI でできるのか？(多数)
- ・応募が多い企業は、「この学生だけはいらない」を AI でやれるのでは？(井坂)
- ・JR 東日本は、観光案内を AI でやり始めている。(呉石)
- ・スマートスピーカーが来ると思う。AWS のバックボーンは凄い。(高橋)
- ・RJP の授業で、アレクサを使って、お客様対応させるコンテンツを作っては？(高橋)
- ・この頃、Python も人気があるが、その点は？(井坂)
- ・Python を使って AI を作ることは、現状の仕事ではあまりない。(高橋)
- ・ワークスアプリケーションズも潰れた。AI 技術者を集めてきたが、目的を達成できなかった。(高橋)
- ・それならば、AWS を使わせた方が良い。(高橋)
- ・Youtube など python を使った事例も多いが？(井坂)
- ・確かに Python で Web アプリを作ることも可能ではあるが。大規模は、Java。小規模は、PHP が Web アプリ開発でのメイン。
- ・手を広げすぎて、Java がおろそかになるのは良くない。(松嶋)
- ・カリキュラムの中でやる必要はないということで良いか？(井坂)
- ・それでよい。(他全員)

マインド

- ・ものに興味がない人が多い。(松嶋)
- ・グループで製作している時に他の人のパートの内容がわからない。(松嶋)
- ・自発性がない。次を待っている人が多い。(高橋)
- ・当社でも自発性がない人が多い。(後藤)
- ・時間感覚がない。先がまだあるのにダラダラやる。(松嶋)
- ・当校では、RJP で、問題発見・解決を RJP の導入としてやり始めた。(呉石)
- ・そういう感覚は、ビジネスでも必要。(高橋)
- ・先生の話聞いた後に m 「私は、これをやります。」を 3 つくらい出させては？(松嶋)
- ・自由研究をやらせるのも良いのでは。(高橋)
- ・全体的に問題や先のことや相手のことが考えられない。メールの件名も書けない。母親もそういうメールを出しているし、LINE 世代なので、件名を書くという認識がない。(井坂)
- ・なので、遅刻の連絡は、メールでやり取りさせている。(井坂)
- ・会社への応募もメールの件名がないものが多い。(後藤)
- ・どういう件名を付ければよいかわからない学生が多い。(呉石)
- ・わかりやすい名前を付けるように指導している。(呉石)
- ・採用の段階で、そういうことができている学生は、その後期待されるか？(呉石)
- ・期待される。(全員)

その他

- ・お客様も AWS を使おうとする人が増えた。(高橋)
- ・AWS の教育は必要である。(高橋)

以上

■ゲームプログラミング科 分科会

参加者

＜外部委員＞

澤坂 智之（株式会社 Artisan）

川勝 誠治（株式会社ゲーテク）

＜内部委員＞

松田 達夫（専門学校東京テクニカルカレッジ ゲームプログラミング科科长）

以下の内容について意見交換を行った。

1. 無償化に向けての取り組み
2. グループ制作（卒業制）
3. ゲーム会社への就職率アップと現状

1. 無償化に向けての取り組み

【松田】

無償化に向け、シラバスをまとめたものを説明した。

【川勝氏・澤坂氏】

良くまとまっている。

【松田】

今後は、細かく記載していく事を説明した。

2. グループ制作（卒業制）

【松田】

本年度の卒業制作について意見を伺った。

年前は、各学科の特徴を活かしたゲームやアプリの制作。

去年は、ポケモン Go 的な AR ゲームを東中野でのバージョンにして制作。

【松田】

最新の技術での制作をしてみたいと思っている。

例えば「Python」はどうか？

【川勝氏】

ゲームというより Web 系になってしまうのでは。

【松田】

AR をもっと極めてみてはどうでしょうか。

【澤坂氏】

最近はゲームに特化していないので、本格的にゲームを制作してみてもは。

【澤坂氏】

「Unreal Engine」で、見た目の派手なゲームが良いのでは。

【川勝氏】

本科卒業の社員が、空いた時間を使って派手なもの制作していた。

【澤坂氏】

現在出ているゲームを研究（エフェクト）する事で、グラフィカルな技術の勉強にもなる。

【松田】

具体的には3人と1チームの編成になるが、制作担当の分け方で良いアイデアはないか？

【澤坂氏】

アクションゲーム系で、ゲーム部分担当、エフェクト担当、ステージ担当で分かれるのでは。

【松田】

秋から構想を練ります。

3. ゲーム会社への就職率アップと現状

【松田】

現在のゲーム会社の現状を聞かせて下さい。

【川勝氏】

コンシューマの仕事は減少傾向で、やはりソーシャル系が多い。
パチンコの仕事も会社が新規参入は少なく開発会社も淘汰されてきている。

【澤坂氏】

ゲーム自体はシリーズ物が多く、新作は少なくなっている。

【松田】

ゲーム会社への就職希望学生が、毎年少ないので何とか増やしたいと考えているが対策はないか。

第四期に企業の人に来てもらい、ゲーム会社の魅力を話して貰う事を考えている。

【川勝氏】

時間調整を行い、合えば手伝うことも可能。

【松田】

出来る限り卒業生に来てもらいたい。

【澤坂氏】

いつでも準備して、日程調整をします。

【松田】

今後も貴重なご意見を、よろしくお願い致します。

以上

■Web 動画クリエイター科 分科会

参加者

＜外部委員＞

中山 典隆（有限会社イプシロン／東京商工会議所中野支部）

杉山 司（特定非営利活動法人中野コンテンツネットワーク協会／桔梗 ICT パートナース株式会社）

＜内部委員＞

川辺 伸司（専門学校東京テクニカルカレッジ Web 動画クリエイター科科长）

Web 動画クリエイター科の本年度入学者状況、就職活動状況、活動状況について報告し、募集における学科の見せ方、企業連携、地域連携活動の方向性について意見収集を行った。

本年度入学者状況

学年	人数	内訳	
1 年	18	高校から直接進学	13
		既卒	3
		留学生	1
		昨年度留年	1
2 年	3	高校から直接進学	3
学科計	21		

1 年：男子 13 名 / 女子 5 名 2 年：男子 2 名 / 女子 1 名

【川辺】

学校全体で入学者数増。情報処理科、ゲームプログラミング科は定員満員による募集ストップを行った。建築系も同様。

当科は他科から比べればまだまだ、少ない。

他校も同様の状況で、IT 系の学科を持つ学校の情報処理科は 3 月中旬の時点で募集ストップを行っていた。

当校に限らず入学者増になっていたはず。

入学者増の要因について

【杉山】

今回、他校も含め専門学校進学者が増えた要因は？

【川辺】

現時点で考えられる要因は 3 点。

1)大学の定員数に対する合格者数制限により中堅大学の難易度が上昇。

これにより、大学受験回避の動きがあったこと。（センター試験受験は減少。）

そして、大学不合格者が専門学校へシフトの動きが加速したこと。

実際に大学不合格者の駆け込み出願が 3 月に増えた。当科も 1 名いた。

2)高校2年から当科の見学に参加していた生徒が底上げ。

高校2年時に見学し当科のファンになり、3年になり見学し出願してくれたパターン。今まではこの底上げがゼロだった。

3)高校ガイダンスの頻度増。

詳細は不明だが、入学相談室による高校ガイダンスの頻度がアップした模様。やはり、高校生の募集はネットより地上戦。

外部要因、内部要因の分析が必要。増えた、良かったではダメ。

ファクトベースで分析ができていない現時点では、また少人数学科になる可能性は十分にあると考えているし、学校全体としても、ただ喜んでいる状況では無いと思う。

他校も入学者増ということを考えると、外部要因が大きい。その動きをちゃんと捕まえられた、入学相談室の活動（内部要因）も評価されるべきではある。

外部要因については白書のような動向データがでるのが今年の秋ぐらいなので、現時点で数字ベースの分析ができない。

ミレニアムベビー世代(2000年生まれ)なので、出生数増による影響か数字を確認したが、誤差の範囲だった。但し、そのような分析をして対策を検討することが重要。

【杉山】

資料にある入学者数の数字を見て、一気に学生増えた混乱は起きていないか心配だが、実際どうか？

【川辺】

当初、エレベーターやトイレの渋滞が起きるのでは無いか？などの懸念が議論されたが、そのような問題は無い。離職者訓練の受講者も多くいるので、今回の入学者増が施設のキャパシティに影響するという問題は出ていない。

また、学生の質が落ちたとか、問題学生が増えたとかそのような話は学校全体でも出ていない。

女子の入学希望者増の施策について

【中山】

入学者の内訳を見ていて、男女比が気になった。

女性が少ないと感じる。美大の男女比は3：7で女性が多い。

この学科はクリエイティブ系なのかIT技術系なのかというところが、ぼやけるている懸念がずっとあるが、クリエイティブ系として見られていないのではと思う。

女子はIT、技術、コンピュータとなると難しいと引いてしまう。Webと言っても同じだと思う。

【川辺】

確かに、オープンキャンパスに来る女子は、グラフィックデザインかWebもやれた方が良いのか迷っている人が多い。比較検討している学校はグラフィックデザイン系の学校が多い。

【杉山】

東京テクニカルカレッジという学校が、どうしても理系、工業系と見られるからではないか。

【川辺】

そういう面もあると思うが、インテリア科は毎年女子が集まっている。女子への訴求の仕方を考える余地は十分にあると考えている。

【中山】

女子向けの打ち出しを強めれば、もっと入学者数が増えると思う。
女子アナウンサーは女性の仕事人のシンボル。だから目指す人が多い。
女子高生に向けて、Web 業界で活躍している OG をシンボリックに見せて行くような活動をしていけば良いと思う、

【川辺】

オープンキャンパスでのプレゼンや配布物などで、OG を打ち出してゆきたい。

大学無償化の影響について

【川辺】

専門学校が無償化で専門学校への入学者数が増えるという見方ができるが、大学無償化の影響で、経済的な問題で大学を諦め専門学校に進学している層が大学を志向し、専門学校の入学者数が減るという識者の意見が出ている。

無償化の影響がどのように出るかは未知数。但し、無償化になる対象の学校に選ばれることが、専門学校の質の基準として捉えらることになるので、無償化対象校への申請は重要であり、資料整備を一所懸命やっている状況。

【中山】

経済的事情で専門学校を選択する人がどの程度いるのか。
在学生の経済事情を把握できているか？

【川辺】

経費支弁者、身上書にある家族構成、奨学金の申請状況からの想定となる。
但し、把握できる決定的な要素では無い。

【中山】

奨学金の申請状況と入学者数の数字を比較できると傾向が見えてくるかもしれない。

【川辺】

数字は取れるはずなので、検証にトライすることを検討する。

2年生の就職活動状況

男子	内定	Web制作会社 優秀だが14社エントリーし全て不合格。 OB/OG在籍の会社を紹介し内定。
男子	内定	IT系エンジニア派遣会社 Web制作会社では厳しいと判断し、紹介。 初期研修で適正を判断し派遣先を決めてくれる。
女子	未決定	グッズデザインの仕事を希望し就活中。 デザイナーではなく、ディレクター志望なので求人少なく苦戦。 SP（セールスプロモーション）会社を中心に企業探し。

【川辺】

毎年3月-6月はマイナビ、リクナビ等のメディアに求人を出している企業にトライさせている。7月以降は求人も減ってくるので、学校に来る求人票中心にトライさせる。

マイナビ、リクナビに求人出稿している企業は体力がある、新卒を獲る意欲がある、新卒を育成できる土壌がある企業との判断。

そのような企業の説明会、選考には大卒も多いので大卒と勝負させ、大卒の就活に対する意識レベルを体感させることも目的。

今年は、その3-6月で苦戦。

やはり大卒との勝負なので苦戦する。中堅のWeb制作会社でも大卒志向の強さを感じている。

今までは、5-6人の内定獲得ということで、個別の紹介などで対応できたが、来年度の人数を考えると、専門学校生採用に積極的な企業の開拓必要と考えている。

【中山】

外資系企業をリサーチした方が良いと思う。

中国を中心に、とにかく動きが早い。そのような企業の方が、日本の既成概念にとらわれない採用を仕掛けていると思う。

【川辺】

専門学校と外資系企業という結びつきの発想はなかった。

企業開拓の選択肢の一つとしてリサーチすることにする。

活動報告（RJP 中心）

1)大型街頭ビジョン学校 CM 動画完成（放映中）

新宿 **FLAGS** ビジョン、秋葉原 **LAOX** 本店、新橋ファロシティ（機関車前）の3ビジョンで学生が作成した CM 動画が放映中。（来年3月末まで）

2)吉祥寺ママコミュニティ（NPO 法人）Web サイト構築・運営

吉祥寺を拠点に活動しているママコミュニティ「プレシヤスネット」Web サイト制作、運営を請負い作業進行中。

・団体紹介 Web サイト制作（新規構築）

初期ヒアリング、提案プレゼン、設計、実装と作業進行中。8 月中にリリース予定。

・吉祥寺ハロウィンフェスタ（サイト運営）

毎年 10 月に開催されている吉祥寺ハロウィンフェスタの Web サイト更新（2019 版）、告知期間中の情報更新を行う。

サイト更新だけではなく、Twitter、Instagram を活用した告知方法を企画し、更新運用を行う予定。

【川辺】

吉祥寺ハロウィンフェスタでは学生に Web キャンペーン運用を体験させたい。

【杉山】

サイトを作るだけではなく、運営に関わるといのが良い。

【川辺】

SNS の活用や、スポンサー獲得のアイデアを学生に考えさせたい。

【杉山】

中野、東中野との地域連携もどんどんやってほしい。

半田そうめんのお店、日本閣、T シャツのハードコアチョコレートなど、Web でプロモーション支援ができるお店や企業は多い。

【川辺】

地域連携は小さなことでも良いので、数多く積み重ねたい。数多く積み重ねることで、情報が集まる。その活動によって当校が地域の情報拠点になる可能性があると考えている。

職業実践の企業連携というと、企業からお題が出て、学生が案を作ってプレゼンして、企業が評価するというパターンがほとんど。それは実践とは言えないと考えている。それは以前、企業側の者として専門学校からの依頼などを受けて感じていたこと。

小さな団体でも、地域の商店でも、その人たちが出来ないことを学生が学んでいる技術を生かして実現する。そういった活動を進めて行きたい。

以上